

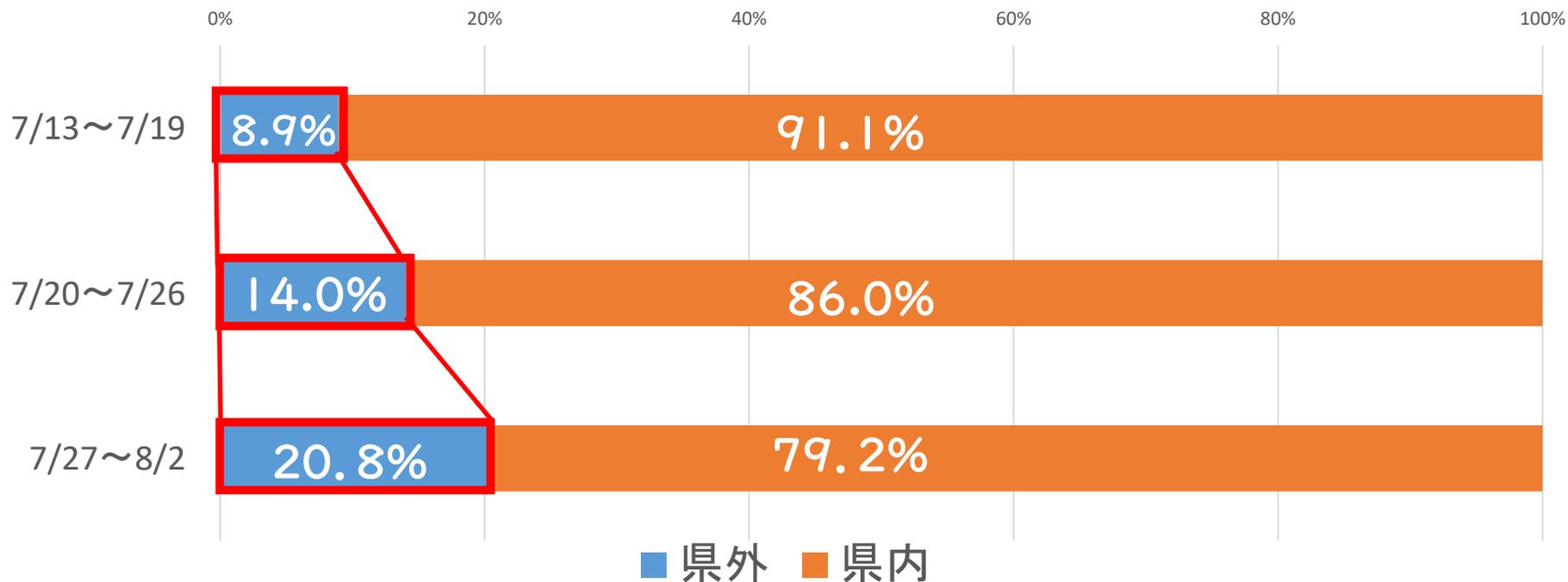
県内の感染状況

直近の感染者数の推移

〔県内発表分〕
単位：人

7/28	7/29	7/30	7/31	8/1	8/2	8/3
37	34	33	44	37	32	67

直近の感染傾向（県内外）



- ・**県外由来の感染**が増加
- ・**感染前の行動歴**で

直近一週間で
あわせて29.8%

県外との往来があった方が増加

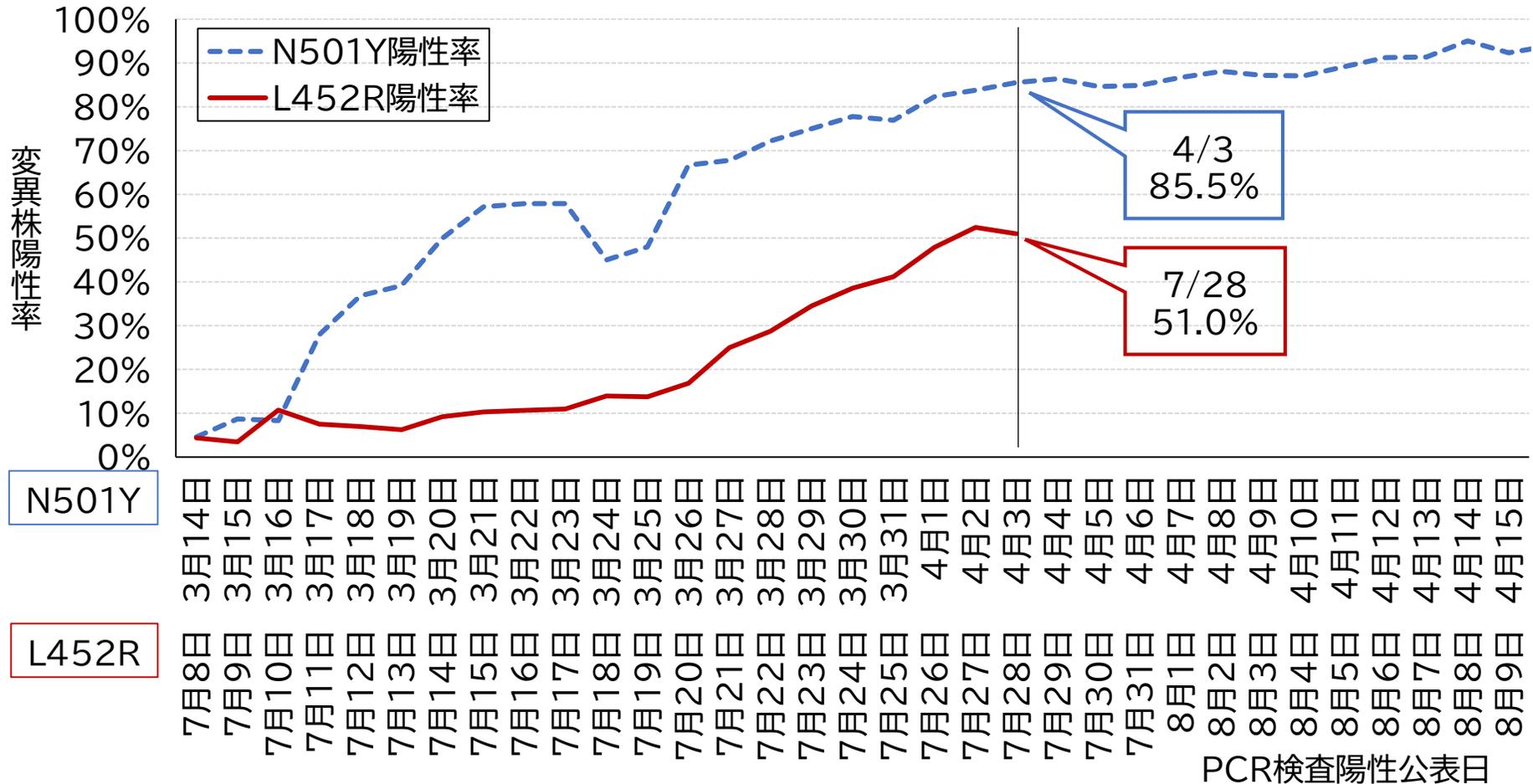
緊急事態宣言、まん延防止等重点措置、時短エリア以外でも

県境を越える移動は
可能な限り**控えて**

変異株陽性率※の推移

※直近1週間あたりの平均陽性率

◆7/28時点の陽性率は51.0%、直近の陽性率は増加傾向



※N501Yの起点日は、保環研におけるスクリーニング検査で初めて陽性が確認された公表日(3月14日)

※L452Rの起点日は、保環研におけるスクリーニング検査開始後(6月7日～)、初めて陽性が確認された公表日(7月8日)

変異株について

県内の直近一週間のL452R変異株陽性を含む事例は
13事例

- ・**県外**の行動歴で感染したと思われる事例や
会食による感染から家族・職場等へ広がる事例あり
- ・行動歴や感染経路等で

四日市市に関連する事例が**7事例**

全国の状況

- ・全体の陽性者に占めるデルタ株の割合は、**7月中旬には関東圏で70%**となると推定

後遺症について

退院後の症状（年代別傾向）

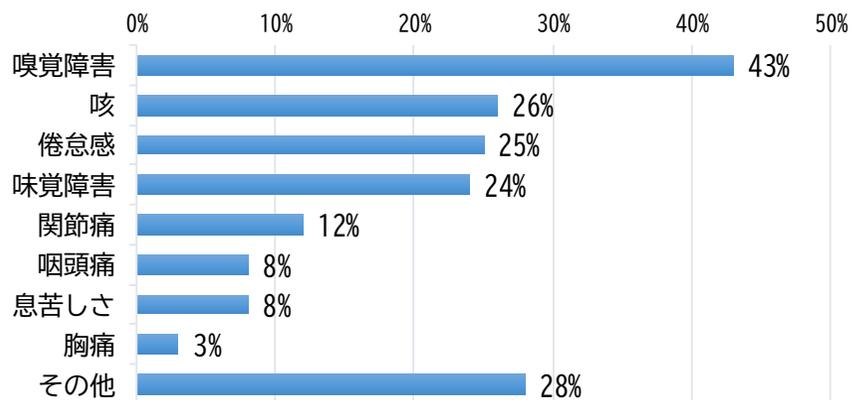
- ・退院後も症状がある方は39%
- ・退院後も症状がある方の年代別割合

10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
20.0%	4.5%	20.7%	66.7%	43.5%	55.2%	41.7%	42.9%	40.0%

県調査・令和3年2月取りまとめのアンケート結果

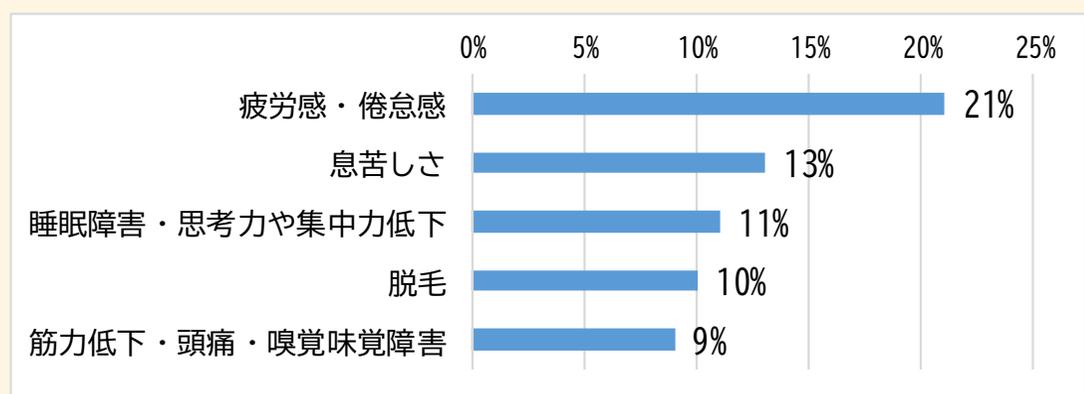
退院後の症状（症状別傾向）

退院後の症状（県調査）



県調査・令和3年2月取りまとめのアンケート結果

診断後6ヶ月経過後の残っている症状（国調査）



厚生労働省ホームページ・令和2年1月～令和3年2月調査

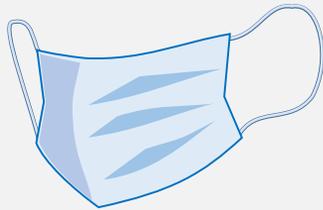
変異株（デルタ株）急増！

- 改めて基本的な感染防止対策の徹底を！

マスク着用

人との距離の確保

手指消毒



- 大人数・長時間となる飲食はしない
- 混雑する場所は避ける

回復後も後遺症の恐れあり

特に30～50代の方

- 年齢に関わらず、引き続き対策を！
- 若い世代の方もワクチン接種の機会の積極的な活用を

モニタリング指標

		医療提供体制等の負荷				監視 体制	感染の状況		
		病床のひっ迫具合			人口 10万人 あたりの 療養者数		PCR 陽性 率	直近1週間 の人口10 万人あたり の新規感 染者数	直近1週 と 先週1週 の比較
		入院医療		うち 重症者 用病床					
		病床 使用率	入院率	病床 使用率					
8/3 時点		36.9%	45.1%	10.0%	10.78人	3.5% (7/17 ~23)	16.03人	2.29倍	17.6% (7/27~8/2 速報値)
県 指 標	注意 レベル	20%~	-	-	-	-	4人~	1.0倍	20%
	警戒 レベル	30%~	-	-	-	-	8人~	1.0倍	30%
国 指 標	ステージ Ⅲ	20%~	~40%	20%~	20人~	5%	15人~	1.0倍	50%
	ステージ Ⅳ	50%~	~25%	50%~	30人~	10%	25人~	1.0倍	50%